

降雪・凍結時期の交通安全

雪道等は、

圧雪路・シャーベット路・アイスバーン・ブラックアイスバーンの順で摩擦係数が低くなり、滑りやすくなります。

雪が降り続けると、積雪の下が氷となっていることもありますので、油断しないでください。

毎シーズン、初積雪や初凍結の際に交通事故が多発していますので、早めの対策をお願いします。



雪道は滑りやすく、「急アクセル」はホイールスピンし、「急ブレーキ」は止まらない、「急ハンドル」は曲がりません。

最近の車は、最新の安全装置や運転支援装置がある程度フォローしますが、これらの装置にも限界があります。雪道の特徴を理解した上で、いつもより速度を落とし、ゆとりを持った運転に心掛けてください。

○ 路面が凍りやすい場所に注意

橋やトンネルのような風が通り抜ける場所は特に凍りやすく、カーブの先で日陰になっている場所は注意が必要な場所です。凍結しているかもしれないと意識しながら、十分に注意して走行しましょう。



ドライバーの皆さんへ!

1 運転前の車両点検整備

- ① スタッドレスタイヤを装着したり、タイヤチェーンを積載しておきましょう。
- ② 燃料は余裕をもって給油しておきましょう。
- ③ 車に積もった雪、ガラスの霜や曇りは走行する前に取り除くようにしましょう。

2 運転上の注意

- ① スピードは控えめに、車間距離は長めにとりましょう。
- ② 轍等々にハンドルを取られないように、ハンドルは両手でしっかり持つようにしましょう。
- ③ ブレーキは早めに踏んでランプの点灯により後続車にこちらの意図を知らせましょう。
- ④ カーブや下り坂の前では、十分に速度を落とすようにしましょう。
- ⑤ 下り坂はエンジnbrakeを使い急ブレーキは避けるようにしましょう。
- ⑥ 上り坂の途中で急加速するとタイヤが空回りして立ち往生の原因になるので注意しましょう。



スリップ事故を防ぐために!



○ゆっくり発進! ○徐々に加速! ○エンジnbrakeを活用! ○早めのブレーキ